

ID No.	349
研究課題名	自然炎症を基盤とするマウスの遺伝的表現型と関連遺伝子群の探索
研究代表者	若菜 茂晴 (理化学研究所・チームリーダー)
研究組織	
受入教員	三宅 健介 (東京大学医科学研究所・教授)
研究分担者	三浦 郁生 (理化学研究所・開発技師) 福井 竜太郎 (東京大学医科学研究所・助教)
研究報告書	<p>今回の共同研究においては、Toll-like receptor7 (TLR7)が過剰に応答する <i>Unc93b1</i>^{D34A/D34A} マウス (D34A マウス) の表現型を規定する遺伝子を同定するために、各種系統にバッククロスをした D34A マウスの解析を行った。まず、脾腫や血小板減少などの表現型が強く見られる C57BL/6N 系統と、弱い表現型が見られる BALB/c 系統について連鎖解析を行い、表現型の関連遺伝子領域を検討したが、顕著な結果は得られなかった。そこで、他の系統について検討した結果、C3H/HeN 系統の D34A マウスは BALB/c 系統よりも表現型が弱かった。そこで C57BL/6N 系統と C3H/HeN 系統の F1 マウスを作製し、表現型を検討したところ、C57BL/6N 系統に近い表現系を持つことが明らかとなった。このことは、N2 マウスの作製時に C3H/HeN 系統への戻し交配を優先するべきであることを示唆するものであり、今後の研究を遂行する上で有用な知見となった。</p>